

当院では「経カテーテル的僧帽弁修復術を受けた患者さんの実態調査」を実施しています



研究課題名	経カテーテル的僧帽弁修復術を受けた僧帽弁閉鎖不全症患者の機械学習による病態生理および予後の予測
対象となる患者さん	2018年4月～2023年12月の間に経カテーテル的僧帽弁修復術を受けた患者さん
研究の目的	経カテーテル的僧帽弁修復術の効果を検証し、今後の診療の改善に役立てる
研究期間	倫理委員会承認後～西暦2026年 12月31日
研究の方法	通常の診療で得られた記録をまとめる
研究に用いる情報・試料の種類	情報:診断名、年齢、性別、身長、体重、血液検査、心電図検査、内服薬、 画像診断(経胸壁心エコー図検査、経食道心エコー図検査、心臓MRI検査)、予後
外部への情報・試料の提供	本研究において、当院含め国内6施設で得られた情報はドイツのTechnical University of Munichへ提供し、同施設の包括情報センターでEUにおけるデータ保護規制(The EU General Data Protection Regulation)に則って適切に保管されます。また、当院でも提供先の取り扱い状況等を定期的に確認し、患者さまの求めに応じて関連情報を提供します。患者さんと情報の対応表は当院の責任者が保管・管理します。
個人情報の取り扱い	お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行います。 また、学会や学術雑誌で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。
当院研究責任者	循環器内科 久保 俊介
研究代表者	榊原記念病院 循環器内科 関 俊樹
研究組織	榊原記念病院 循環器内科 関 俊樹ほか (順天堂大学医学部附属順天堂医院 循環器内科 特任准教授 鍵山暢之、三井記念病院 循環器内科 医長 阿佐美匡彦、仙台厚生病院 循環器内科 主任医長 遠田佑介、聖マリアンナ医科大学病院 循環器内科 准教授 出雲昌樹、倉敷中央病院 循環器内科 医長 久保俊介)
お問い合わせ先	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 循環器内科 研究責任者 久保 俊介 E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp(臨床研究センター)(★を@に変換して使用してください)
その他お知らせ	本研究は資金の援助はなく、開示すべき利益相反はありません。
情報の研究利用開始日	2024年4月23日以降

本研究に関するご質問等ございましたら、上記責任者または問い合わせ先、当院職員までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、お申し出ください。
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。